

未来のまちづくり特別委員会調査報告

付託事項

合併後20年間のまちづくりの検証について

- 人口を維持するための市の取組は有効であった。
- 一方過疎が進んだ地域もあり、地域社会の維持に課題がある。

20年後の白山市のあるべき姿について

- 持続可能な白山市を実現するため、各地域の実情に応じた計画策定が必要である。
- 総合計画の中で、各種施策に対する具体的な数値目標を持つこと。

提言

1 人口について

- ①若者の働く場の確保、出会いの場の創出、子育て支援などによる出生率増加につなげる施策の展開
- ②ジオパークを活用したインバウンド、教育旅行の充実による交流人口、関係人口の増加につなげる施策の展開

2 行財政の健全化について

- ①公共施設の集約化による固定費の低減
- ②市の収入、税収を増やす施策の展開（企業誘致、クラウドファンディング、ふるさと納税、広告など）

3 人材の育成について

- ①行政運営において民間からの人材活用
- ②効果的な人事評価の採用

③能力を見極め、適材適所への配置

4 地域公共交通について

①乗降客増加を図るための工夫、路線の維持と利便性の向上について

5 広域連携について

①既存の枠組みにとらわれず、各自治体の市民サービスの向上につながる連携

6 気候変動・防災について

①よりよい共助の実現のため、自主防災組織の機能的かつ継続的な運営のための行政のサポート

②ゼロカーボンシティの実現に向けた施策の推進

7 土地利用について

①国の施策や制度を活用した企業誘致

②市が主導する土地活用ビジョンの策定に基づいた計画的な土地利用

8 産業について

①小規模事業者への支援

②働く人を確保するため、奨学金支援制度の創設

③地産地消の消費拡大を目指した普及事業

④学校給食での地産地消率の向上

9 健康・福祉について

①健康維持向上の取組強化

②「あたまとからだの健康増進事業」、「はくさんタニタ健康くらぶ」等の効果的な活用

10 教育について

- ①中学生・高校生の学校以外の居場所づくり
- ②「学びの多様化学校」など学ぶ機会の確保
- ③児童・生徒の学習においてはくさん3育とのバランスの取れたDXの適切な活用